

第 3 号 平成 31 年 1 月 1 8 日 (金) 発行責任者：荻野 真作

新年あけましておめでとうございます。皆様にとってよい年でありますように！

### 『ようこそ 京丹後市』 荒山にも芸術の風！

“荒山へようこそ” “峰山へようこそ” “京丹後市へようこそ” という気持ちを含め、峰中交差点の緑地帯に、オブジェを作りました。新年を祝うと同時に、正月休みに京丹後を訪れた人たちへのアピールです。何に見えたでしょうか？

表現する側と見る側がたとえ違っていても、  
愉しめるものそれが「Art」かな？



### 『山陰近畿自動車道』 早期実現 ！！

荒山区としても平成 29 年度の評議員会で早期実現のための全面協力を確認されました。このことは、100 年に 1 度あるかないかという、市民待望の願いでもあり、京丹後市が将来発展するための必要条件であるはずで、昨年 10 月 21 日に国交省の道路に関わるトップ、道路局長を迎え大宮アグリセンターで促進大会が開かれました。会場には、国交省、京都府知事、国会議員、府会議員、市会議員等、そうそうたるメンバーが勢揃いで開催されました。

その場で地域の声として荒山未来塾代表が意見発表をする機会を得ました。内容の一部は丹後ケーブルテレビでも放映されました。早期実現と共に、高速道路で来た人を通過させることなく京丹後に降りることを考えなければならない、そのためには、何もかも八方美人的に実施するという政策から、大胆に特化した政策を考えなければならない、その例として、福井市から米子までの 400 km 内に大きな武道館が一つもないことからその中心にある京丹後市に「武道館」を建設すること、アクセス道路付近に「道の駅」を設置することを提言しました。

とにかく、高速道路ができたとしても、京丹後市を素通りされたら、地域の発展には繋がりません。高速道路から京丹後市に降りていただく方策が必須なのです。このアイデアを考え、高速道路完成と同時に実現するように働きかけなければならないのです。



### 『ドラレコ』(ドライブレコーダー) は、動く防犯カメラ！

防犯カメラは、荒山はもちろん京丹後市内にもほとんどありません。しかし、最近では地方でも事件が多発しています。「ドラレコ」は万が一の交通事故の際に、その状況証拠となるものです。それだけではありません。地域を守る『動く防犯カメラ』として、非常に役立つものだと思います。そのことをアピールすることは、地域全体が自分たちの手で監視して、犯罪を防ぐことに役立つと考えています。荒山未来塾としては、市・警察・業者等との共同で取組を進めていきたいと考えています。

防犯カメラが荒山、京丹後市内を走り回るので、費用のかかることですが、自分の車にドライブレコーダーを付けていただけませんか！

※ 荒山未来塾は京都府の地域力再生プロジェクトに取り組んでいます。

